

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

**南** 高ダンス部  
が世界大会  
で優勝したときの  
ダンスを6月21  
日、倉敷芸文館で  
披露する機会に恵  
まれました。



優勝メンバーでのラストダンス

卒業後、ダンス  
に関わっていない  
メンバーもあり、  
あのとときの気持ちや体力  
には及ばなかったかもし  
れませんが、会場からの  
厚い声援に背中を押して  
もらって、何とか恥ずか  
しくない演技ができたと思  
います。この舞台が、  
あのメンバーでの本当の  
ラストダンスになりました。

保護者の一人として、

あの衣装にもう袖を通す  
こともないのかと思うと  
寂しいですが、思い出と  
ともに大切にしまってお  
きたいと思っています。

(別府宏美さん・新本)

**町** 内にある荒神社の社  
の再建をしました。  
古いお社を解体してい



写真の右奥に新しいお社が見える

の繁栄につながるのだと  
思いました。

(平田節男さん・  
中央四丁目)

**山** 田川に架かった大谷  
橋の渡り初め式を6  
月16日、行いました。

式には、山田幼稚園の  
園児や地元の人など約40  
人が出席。園児や地元代  
表者らがテープカットを  
して橋の完成を喜びあい  
ました。

子どもたちは、幼稚園  
から橋ができていく様子  
をずっと見てきました。  
大谷橋は幅約5m、長さ  
約17mの橋ですが、園児  
たちの思い出として残り、  
生活道として大切にに使  
われることでしょう。

(山田地区市政モニター・  
佐藤洋子さん)



渡り初めをして完成を喜ぶ

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

**市 民 憲 章**

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び  
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましよう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

インタビュー  
**Interview**

輝いている人

夏まつりはこうでなければ、  
そんな雪舟フェスタにしたい



今年の総社市民まつりの実行委員長を務める

**三島 幸治さん(久代)**

8月2日、高梁川河川敷  
グラウンドで開催される総  
社市民まつり雪舟フェスタ  
の実行委員長を務めるのが  
三島幸治さんだ。

平成12年から、企画や会  
場設営などさまざまな形で  
雪舟フェスタに携ってきた。  
今年も、先頭に立って  
まつりの運営を引っ張る。

昨年、メイン会場を市役  
所周辺から高梁川河川敷グ  
ラウンドに変更。4万20  
00人の人出でにぎわい、  
総社をPRできた良いまつ  
りだったと振り返り、「昨  
年は勢いでやったところも  
あるが、今年も地に足を  
つけてやる」と意気込む。

「いろんな人に関わってほ  
しい」と考えた三島さん。業  
者任せだったPRポスター  
のデザインを公募に変え、  
高校生のデザインを採用し  
た。また、応募団体のオリ

ジナルデザインが夜空に浮  
かび上がるメモリアル花火  
も企画した。

総おどりは、一体感を出  
したいと、片側通行だった  
ものを、会場の南北からス  
タートし、おどり連が対面  
しながら踊る方式に変え  
た。おどりで会場全体を盛  
り上げたとのねらいだ。

「夏まつりはこうでなけ  
ればと思ってももらえるよう  
な、雪舟フェスタを目指  
す」。PRポスターがかも  
し出している雰囲気、ま  
さに三島さんのイメージど  
おりだという。まつりも真  
近に迫り、スタッフと毎晩  
打ち合わせを続けている。

まつり当日の午後5時、  
三島さんの一声で雪舟フェ  
スタはスタートする。「み  
んなで楽しめるまつりなの  
で、ぜひ会場に足を運んで  
ください」とメッセージを  
くれた。